

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)事業実施状況

事業の名称	総合戦略	事業の概要	H27年度 重要業績評価指標(KPI)	実績
岩倉市人口ビジョン・総合戦略策定事業	—	国の総合戦略を念頭に、岩倉市における人の流れや経済活動の状況を調査・分析し、少子高齢化の進展に的確に対応し、住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある岩倉市を維持していくため、人口ビジョン及び総合戦略を策定しました。	—	策定
地元企業支援地域産業活性化事業	P38～39 基本目標1 施策1 地域活性化支援事業 P39～40 基本目標1 施策2 創業支援事業計画の策定及び推進	若手事業者と商工会による円卓会議を運営し、中小企業が抱える幅広い課題の解決に向けた意見交換を行い、市内商工業の底上げと企業活性化を図る取り組みを実施しました。また、市内事業所や金融機関向けなどのセミナーや個別相談会、創業連続セミナーを開催し、事業者の相談機会の確保と起業を含めた支援機能の強化を行いました。	個別相談実績:20件 創業支援件数:1件	個別経営相談会実績:30件 創業支援件数:1件
放課後子ども居場所づくり推進事業	P46～47 基本目標3 施策3 放課後子ども総合プランの推進	放課後児童クラブの対象年齢を小学校3年生から4年生(一部は6年生)に拡大しました。また、新たに学校施設での放課後児童クラブを実施するための方策等についての調査検討を行い、夏休み期間中には試行的に1つの小学校において、放課後児童クラブを実施しました。	学校施設での放課後児童クラブの利用児童数:40名 対象年齢拡大による利用者数増:20名	学校施設での放課後児童クラブ利用児童 北小:28名 南小:27名 対象年齢拡大による利用者増:23名
空き家等利活用推進事業	P42～43 基本目標2 施策1 空き家等利活用推進事業	都市部においても空き家が増加しつつあり、市街地における人口減少や、街並み景観、防犯、防災上の問題にもつながるおそれがあるため、空き家の有効活用を目的として、実態調査を行い、空き家をデータベース化し、所有者の意向を確認しました。利活用については今年度方向性をとりまとめ、来年度に向けて庁内で検討していきます。	空き家・空き地データベース化数:300 利用可能な空き家の情報提供件数:5件	空き家・空き地データベース化:542件 利用可能な空き家の情報提供件数:0件
地震対策推進事業	P50～51 基本目標4 施策2 地域防災力強化推進事業	直下型地震に対する調査を行い、地震に対する脆弱度(危険度)を評価し、建築物、ライフラインなどの現況分析などを通して被害の予測を行い、地震防災ガイドブックを作成しました。これを活用し、消防団の研修や合同訓練の実施、自主防災組織や民生委員への調査報告会や地区防災訓練の実施し、地域住民への普及啓発や地震に対する地域防災力の強化を図り、地域防災の中核的役割を担う消防団の訓練等の活動に必要な装備品を購入しました。	調査報告会及び地区防災訓練等の参加者:80名 調査報告会参加者アンケートにより防災意識の向上が図られた市民の数:50名 消防団合同訓練の実施回数:3回	調査報告会:26日実施 消防団合同訓練の実施回数:3回